MODELLISTA

MSD44−52005/6
サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はMODELLISTAサイドスカートをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MSD44-52005-A0	ソニッククォーツ(085)	LBX	
MSD44-52005-B2	ソニッククロム(1L1)		
MSD44-52005-C0	ブラックマイカ(209)		
MSD44-52006-NP	未塗装品		

・最新の適合情報はMODELLISTAカタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

■ 構成部品

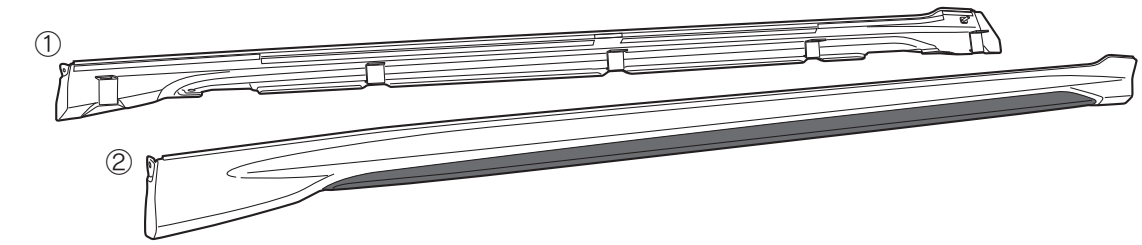
No.	部品名	数量	備考
①	サイドスカート RH	1	
②	サイドスカート LH	1	
③	スクリベット	10	
④	アプセットタッピング	2	6×20
⑤	クリップナット	2	
⑥	ワッシャー	2	t =0.8　内径φ8.5　外径φ14
⑦	両面テープ	2	
⑧	樹脂ブラケット No,N006 RH	1	
⑨	樹脂ブラケット No,N006 LH	1	
⑩	スクリューグロメット	2	
⑪	アプセットタッピング	2	5×16
⑫	スペーサー	2	t =2.0
⑬	穴あけ位置決めステッカー RH	1	
⑭	穴あけ位置決めステッカー LH	1	
⑮	PACプライマー	1	K-500

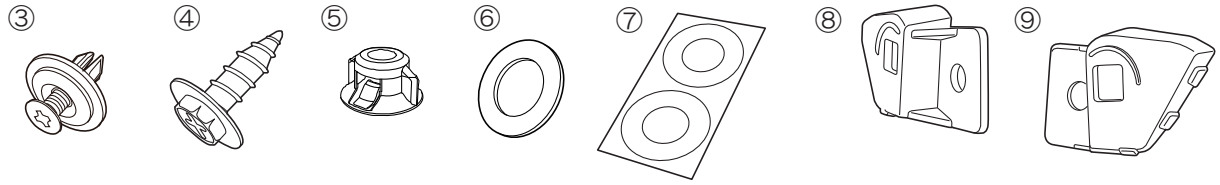
以下、MSD44-52006-NP(未塗装品セット)のみに同梱

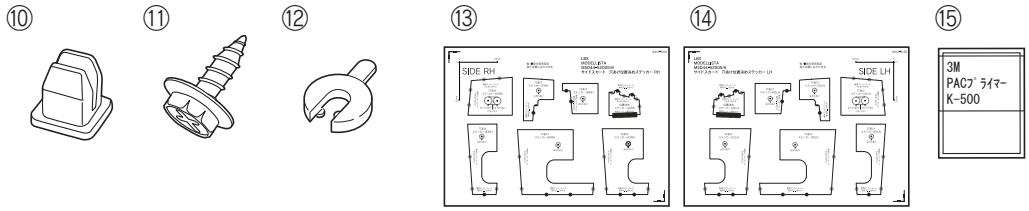
No.	部品名	数量	備考
⑰	金属調パーツ RH	1	
⑱	金属調パーツ LH	1	
⑲	クリップ	6	
⑳	PACプライマー	1	N-210NT
㉑	エンドモール（イ型）	2	ブラック　L=2000㎜

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

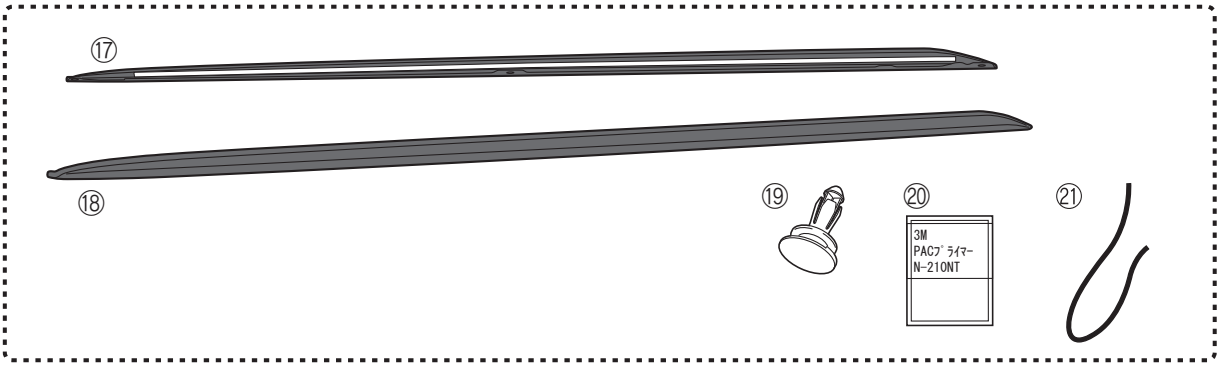
■ 構成部品図







以下、MSD44-52006-NP(未塗装品セット)のみに同梱



■ モール設定　推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モールカラー
085	ソニッククォーツ	ブラック
1F7	シルバーメタリック	ブラック
1H5	アストログレーメタリック	ブラック
1L1	ソニッククロム	ブラック
209	ブラックマイカ	ブラック
3U5	レッドスピネル	ブラック
4Y5	ソニックカッパー	ブラック
5A3	パッショネイトイエロー	ブラック
8W7	ディープアズールマイカメタリック	ブラック
1M9	SOU	ブラック

取付け上のご注意 (取付け作業者の方へ)

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

⃠本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。

❗本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。

❗取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

❗本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

❗脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行なってください。

❗脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。

❗本商品の両面テープは、環境温度が15℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗本商品は塗装前に下地処理が必要です。

❗本商品に塗装する際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗乾燥させる際は、製品の変形が変形しないように固定してください。
乾燥温度が高いと製品に変形やひび割れを起こしますので、70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。

❗本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図、モール設定推奨カラー表・・・・ 1～3
2. 取付け上のご注意(取付け作業者の方へ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付け構成図・・・・・・・・・5
4. 取付け準備・取付け要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～12
5. 未塗装品の取扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13～16
6. 取付け完了後の点検・注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

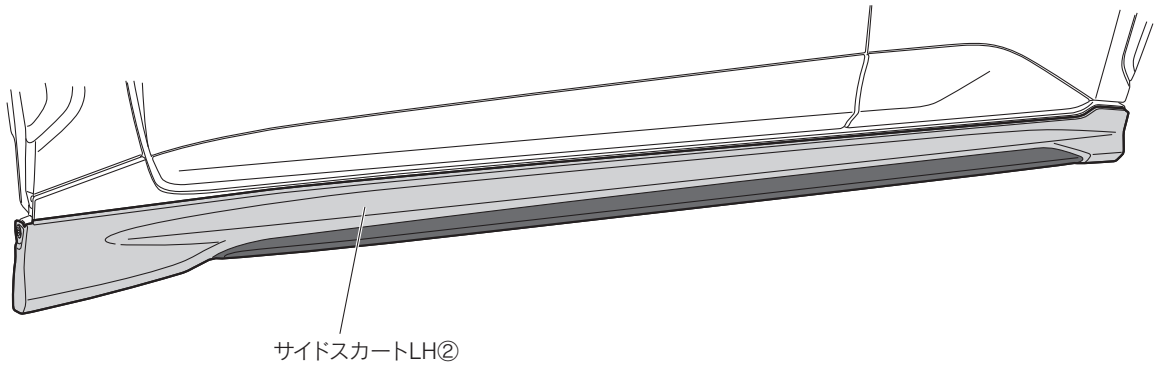
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・クリップリムーバー
・加工用工具(ハサミ・カッター等)・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル(刃：3.0㎜/6.0㎜/10.0㎜)
・軍手・保護シート・養生テープ・マスキングテープ・布テープ
・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、3年・60,000㎞の保証を実施致します。
(3年または60,000㎞走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はMODELLISTAパーツカタログサイト<https://www.modellista.co.jp/>
「保証について」をご覧ください。

■ 取付け構成図



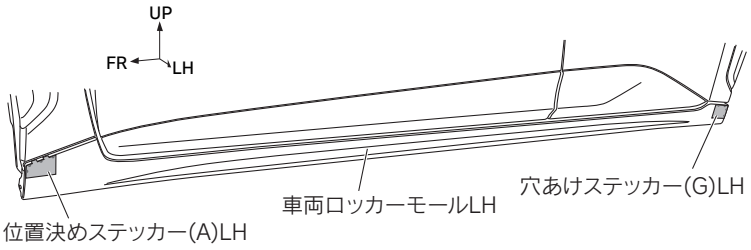
■ 取付け準備・取付け要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ サイドスカートの取付け準備

図1　※LH図示　左右共通作業

ステッカー記載の要領に従って正確に貼付けてください。



1. 図1のように穴あけ位置決めステッカーLH⑭から位置決めステッカー(A)LH､穴あけステッカー(G)LHを剥がし、車両ロッカーモールLH側面に貼付ける。
2. 図1のように穴あけ位置決めステッカーLH⑭から穴あけステッカー(B)LH､(C)LH､(D)LH､(E)LH､(F)LHを剥がし、車両ロッカーモールLH下面に貼付ける。

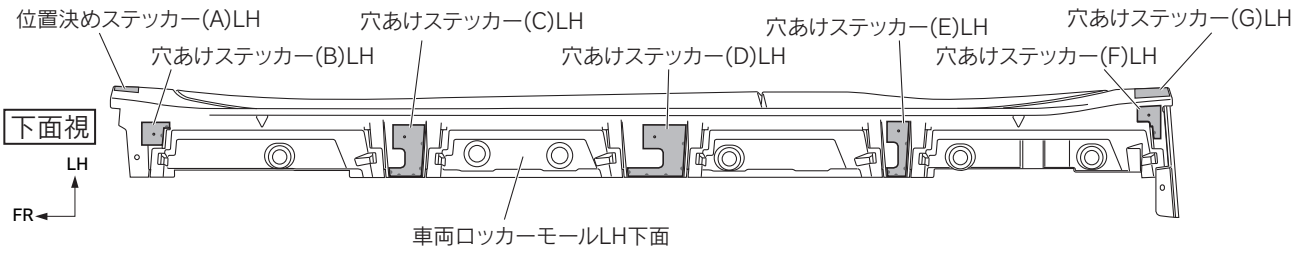
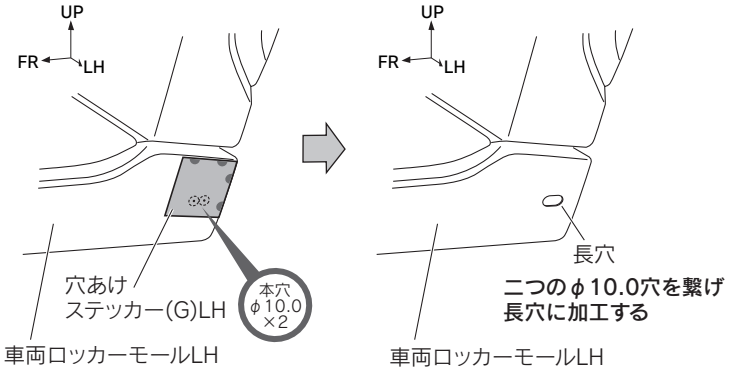


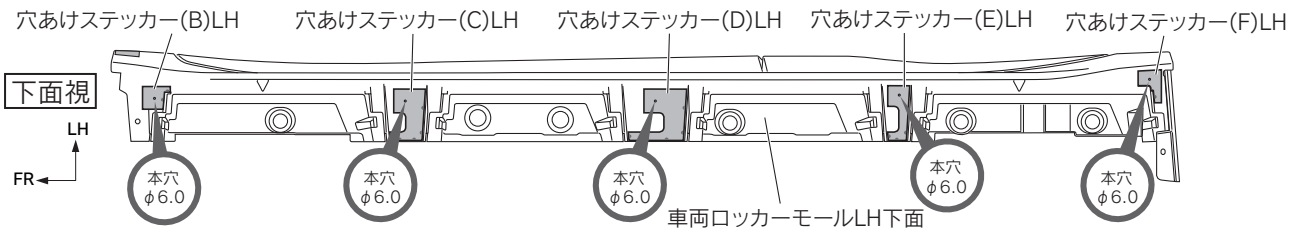
図2　※LH図示　左右共通作業

下穴φ3.0→φ6.0　本穴φ10.0　(左右各1箇所)



3. 図2のように穴あけステッカー(G)LHに型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴ををφ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。　(左右各1箇所)
4. 図2のように穴あけステッカー(G)LHを剥がし、二つのφ10.0の穴を繋げ長穴にし、穴周囲のバリを除去する。
5. 図2のようにように穴あけステッカー(B)LH(C)LH､(D)LH､(E)LH､(F)LHに型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴をφ3.0であけ､φ6.0の本穴をあける。　(左右各5箇所)
6. 穴あけステッカー(B)LH､(C)LH､(D)LH､(E)LH､(F)LHを剥がし、穴周囲のバリを除去する。

下穴φ3.0　本穴φ6.0　(左右各5箇所)



⚠ **注意** :作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ **注意** :穴あけ加工時、ドリル刃は正しいサイズを使用し、穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

アドバイス:突き抜け防止のため、ドリル先端から10㎜のところに布テープを巻付けてください。

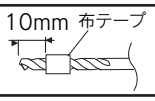
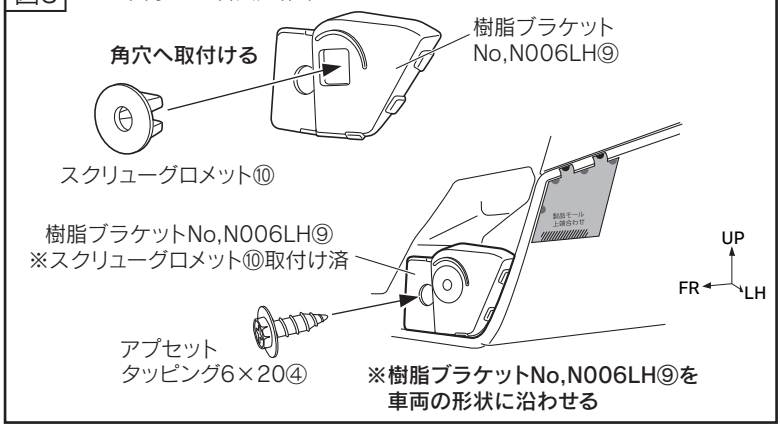
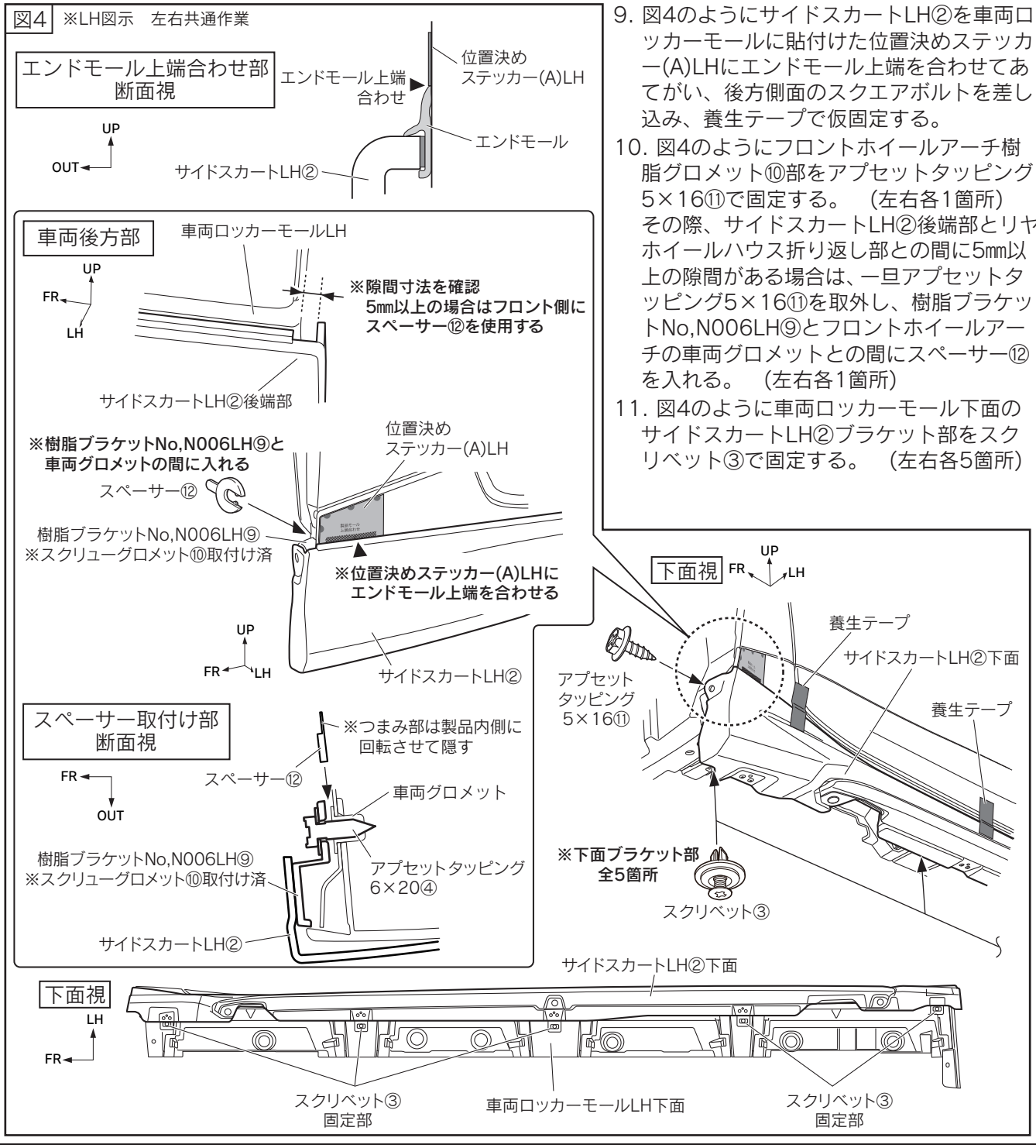


図3　※LH図示　左右共通作業



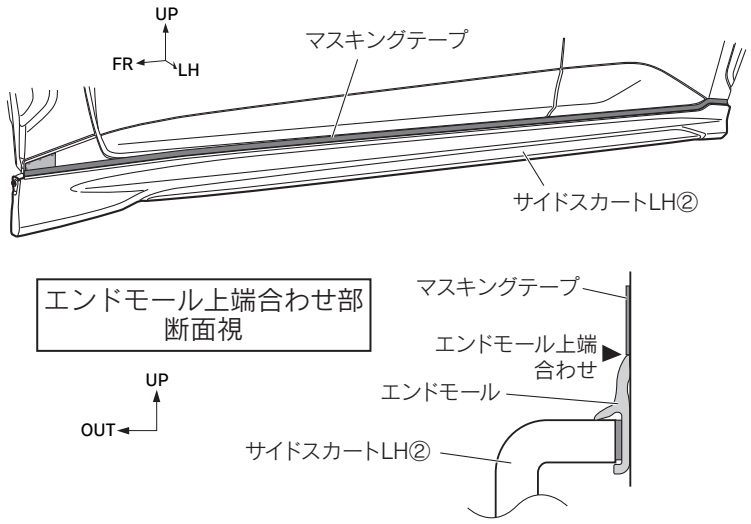
7. 図3のように樹脂ブラケットNo,N006LH⑨の角穴へスクリューグロメット⑩を取付ける。（左右各1箇所）
8. 図3のようにスクリューグロメット⑩を取付けた樹脂ブラケットNo,N006LH⑨をアプセットタッピング6×20④でフロントホイールアーチの車両グロメット部へ取付ける。（左右各1箇所）

図4　※LH図示　左右共通作業



9. 図4のようにサイドスカートLH②を車両ロッカーモールに貼付けた位置決めステッカー(A)LHにエンドモール上端を合わせてあてがい、後方側面のスクエアボルトを差し込み、養生テープで仮固定する。
10. 図4のようにフロントホイールアーチ樹脂グロメット⑩部をアプセットタッピング5×16⑪で固定する。（左右各1箇所）
その際、サイドスカートLH②後端部とリヤホイールハウス折り返し部との間に5㎜以上の隙間がある場合は、一旦アプセットタッピング5×16⑪を取外し、樹脂ブラケットNo,N006LH⑨とフロントホイールアーチの車両グロメットとの間にスペーサー⑫を入れる。（左右各1箇所）
11. 図4のように車両ロッカーモール下面のサイドスカートLH②ブラケット部をスクリベット③で固定する。（左右各5箇所）

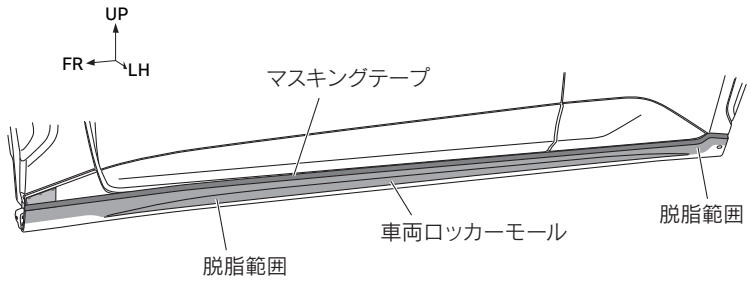
図5　※LH図示　左右共通作業



12. 図5のようにサイドスカートLH②と、位置決めステッカーを合わせた状態でエンドモール上端に合わせてマスキングテープを貼付ける。

⚠ **注意** :PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行なってください。

図6　※LH図示　左右共通作業

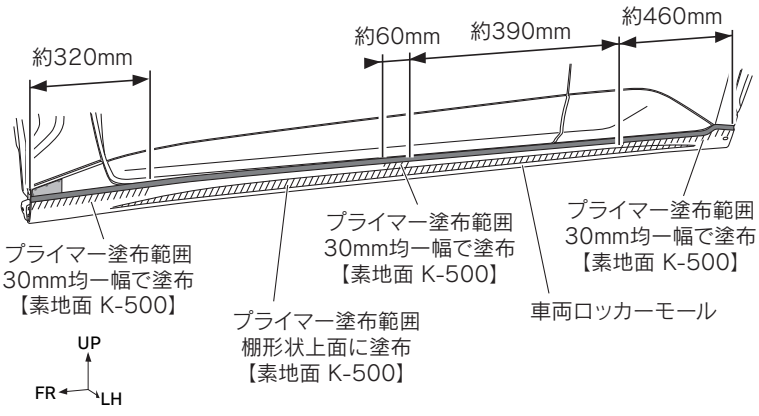


13. サイドスカートLH②を取外す。
14. 図6のようにサイドスカートLH②の両面テープ貼付け部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂する。

⚠ **注意** :脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因になります。

図7　※LH図示　左右共通作業

※寸法は目安です。サイドスカートLH②裏側の両面テープ位置を確認し、プライマーを塗布してください



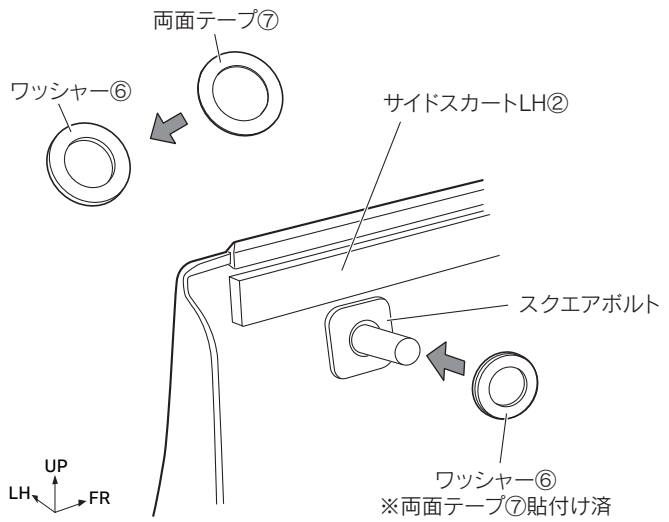
15. 図7のようにサイドスカートLH②の両面テープ貼付け部にPACプライマーK-500⑮を塗布する。

⚠ **注意** :プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

アドバイス:PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。

16. マスキングテープを剥がす。
※位置決めステッカーは剥がさないでください。

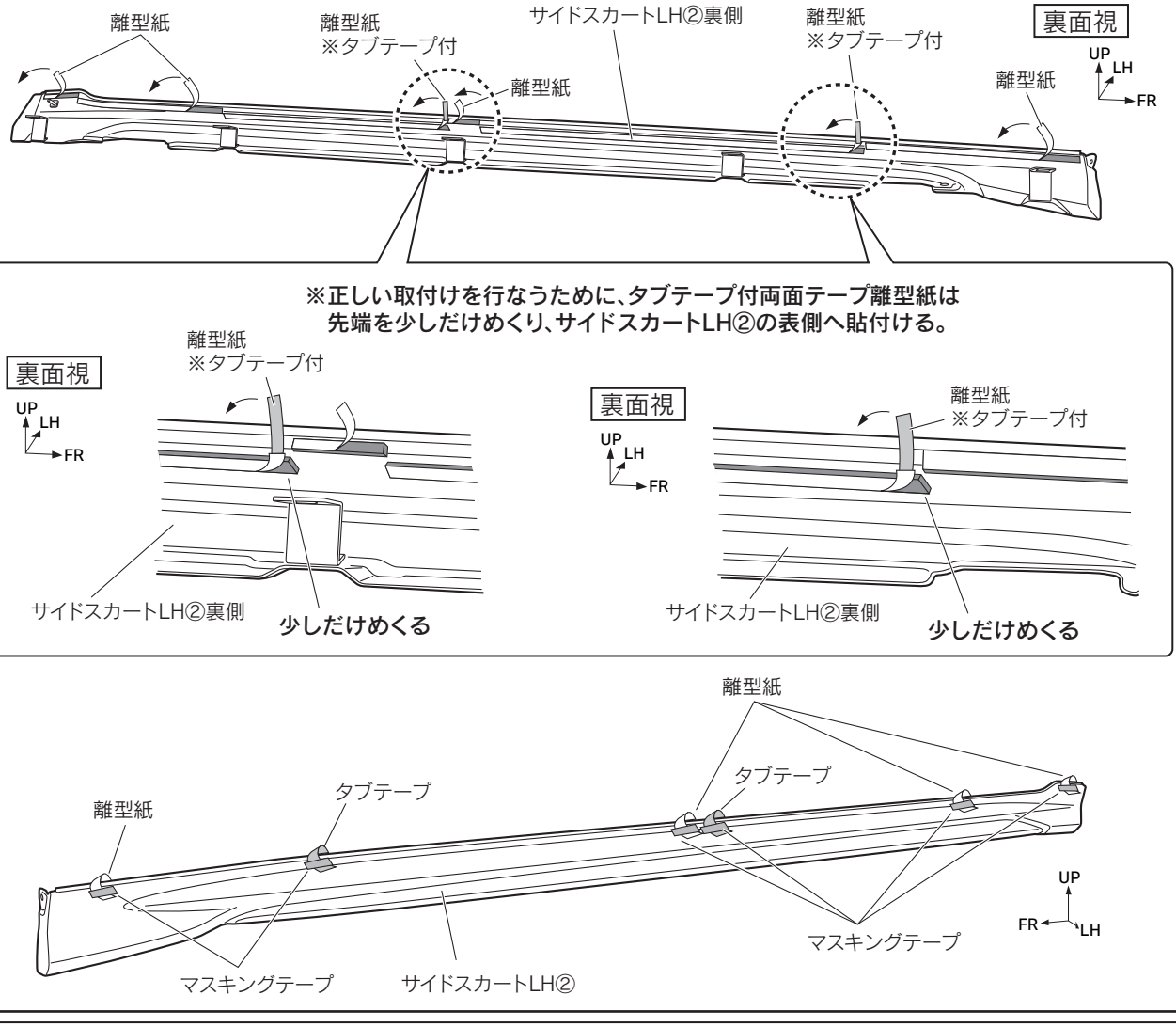
図8　※LH図示　左右共通作業



17. 図8のようにワッシャー⑥へ両面テープ⑦を台紙から剥がして貼付ける。
18. 図8のようにワッシャー⑥を離型紙を剥がし、サイドスカートLH②裏側のスクエアボルトへ貼付ける。　(左右各1箇所)

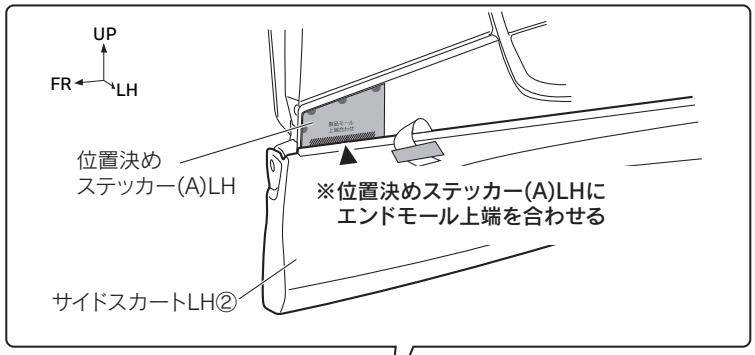
19. 図9のようにサイドスカートLH②両面テープ離型紙を矢印の方向に約30㎜剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。　(左右各6箇所)

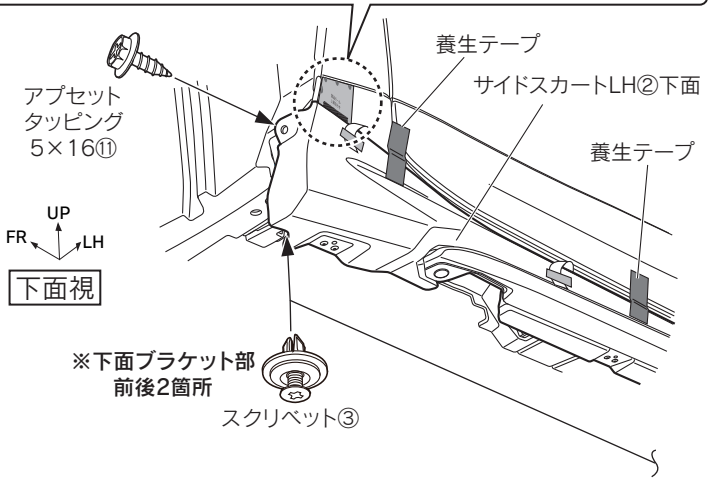
図9　※LH図示　左右共通作業



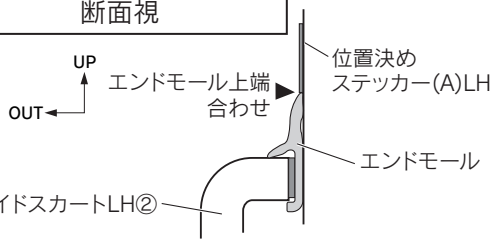
□ サイドスカートの取付け要領

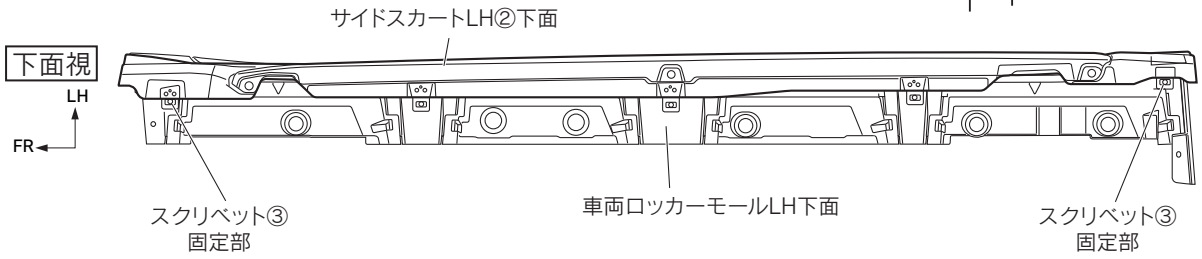
図10　※LH図示　左右共通作業





エンドモール上端合わせ部
断面視

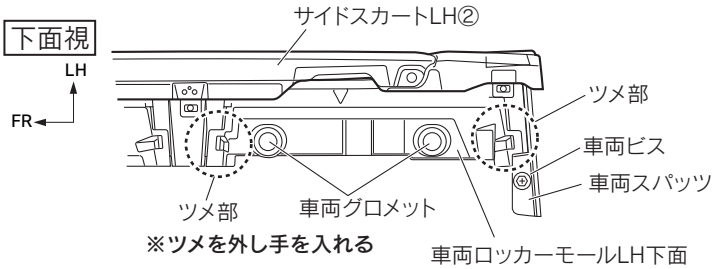


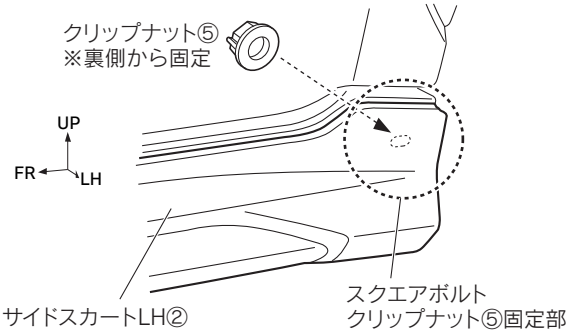


1. 図10のようにサイドスカートLH②を車両ロッカーモールに貼付けた位置決めステッカー(A)LHにエンドモール上端を合わせてあてがい、後方側面裏側のスクエアボルトを差し込み、養生テープで仮固定する。
2. 図10のようにフロントホイールアーチ樹脂グロメット⑩部をアプセットタッピング5×16⑪で仮固定する。(左右各1箇所)
3. 図10のように車両ロッカーモール下面部のサイドスカートLH②ブラケット部をスクリベット③で固定する。　(左右各2箇所)

アドバイス:スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーで回して締め込んでください。

図11　※LH図示　左右共通作業



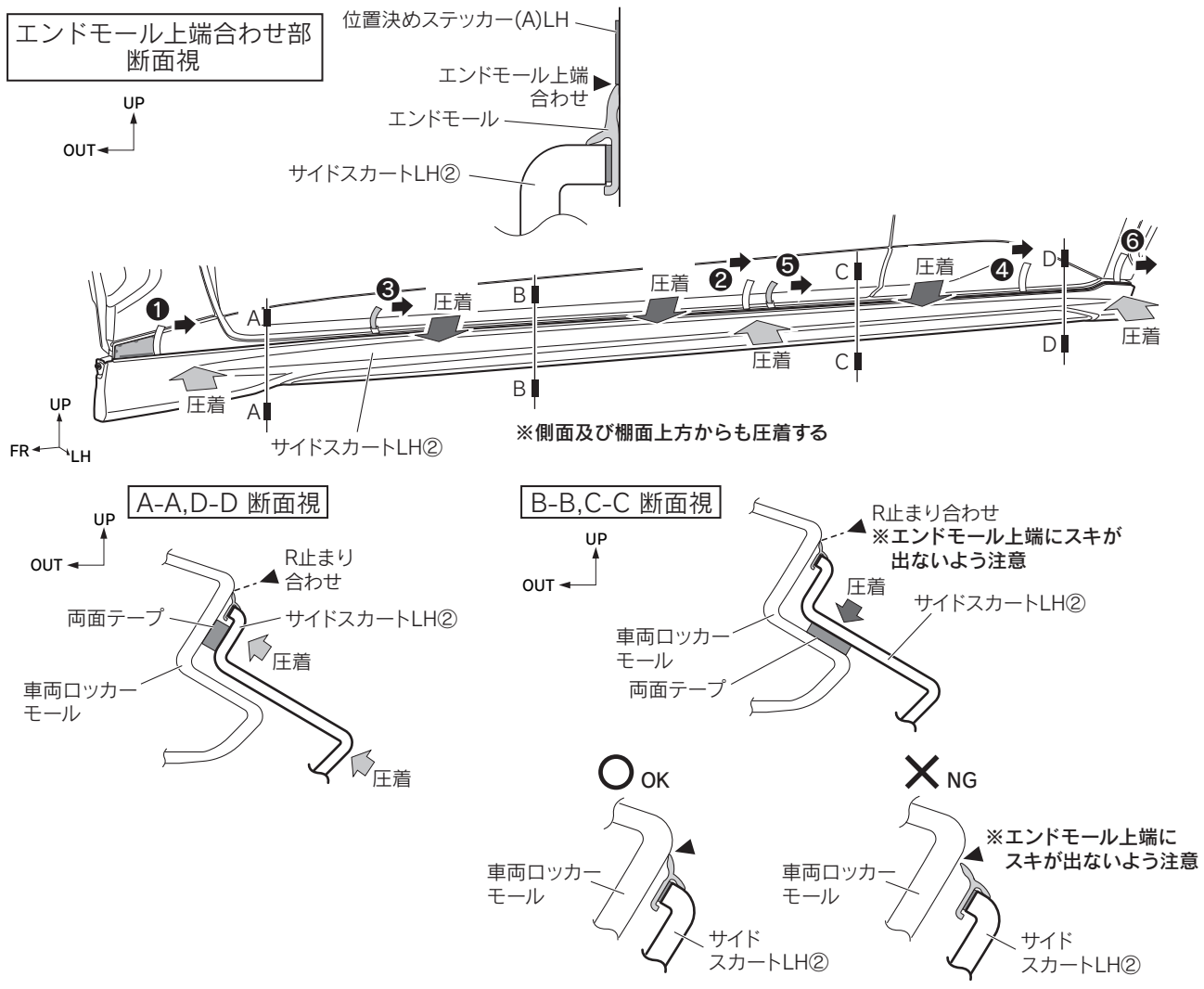


4. 図11のように車両ロッカーモール下面後方の車両グロメット及びリヤホイールアーチ下面の車両スパッツを固定している車両ビスを取外す。　(左右各3箇所)
5. 図11のように、中に手が入るように車両ロッカーモール下面のツメを外す。
6. 図11のようにサイドスカートLH②のスクエアボルト部を、車両ロッカーモール下面から手を入れクリップナット⑤で固定し取外した車両部品を復元する。
(左右各1箇所)

⚠ **注意**:クリップナットは本締めしてください。

7. 図12のようにサイドスカートLH②のエンドモール先端と、位置決めステッカーを合わせた状態で両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

図12　※LH図示　左右共通作業



8. 図13のように車両ロッカーモール下面のサイドスカートLH②ブラケット部をスクリベット③で固定する。（左右各3箇所）

図13　※LH図示　左右共通作業

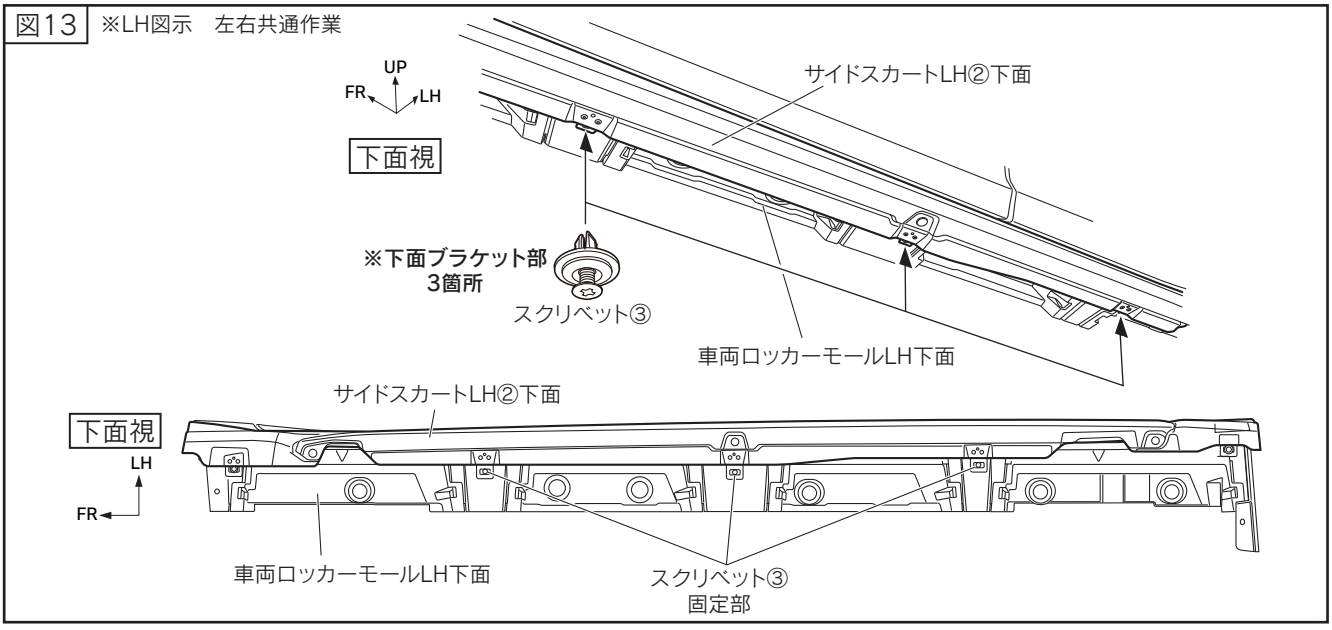
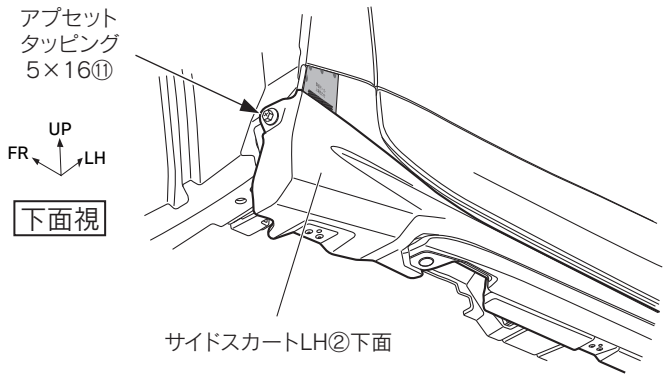


図14　※LH図示　左右共通作業



9. 図14のようにサイドスカートLH②のフロントホイールアーチ部のアプセットタッピング5×16⑪を本締めする。
10. 全ての位置決めステッカーを剥がす。

アドバイス:両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠ **警告**:両面テープは十分に圧着してください。
圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。

両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MSD44-52006-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

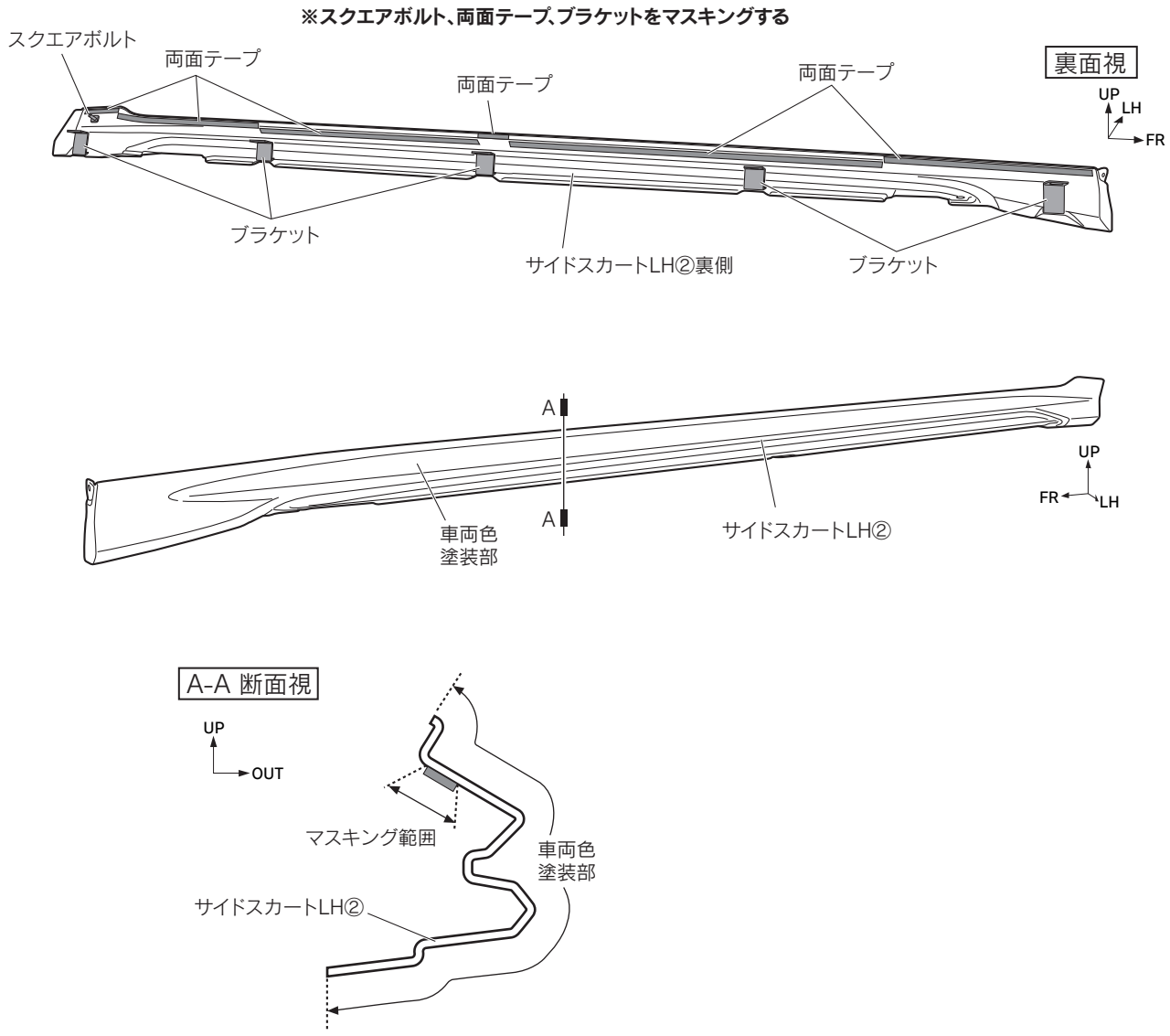
□ サイドスカートの塗装

1. 図1のようにサイドスカートLH②を車両色で塗装する。

⚠ **注意** :本商品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。
塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサーフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
乾燥温度を70℃以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

⚠ **警告**:両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

図14　※LH図示　左右共通作業



□ エンドモールの貼付け

1. 図15のようにサイドスカートLH②のエンドモール㉑貼付け部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、エンドモール貼付け部のみにPACプライマー(N-210NT)⑳を塗布する。

⚠ **注意** :脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因になります。
プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図15 ※LH図示　左右共通作業

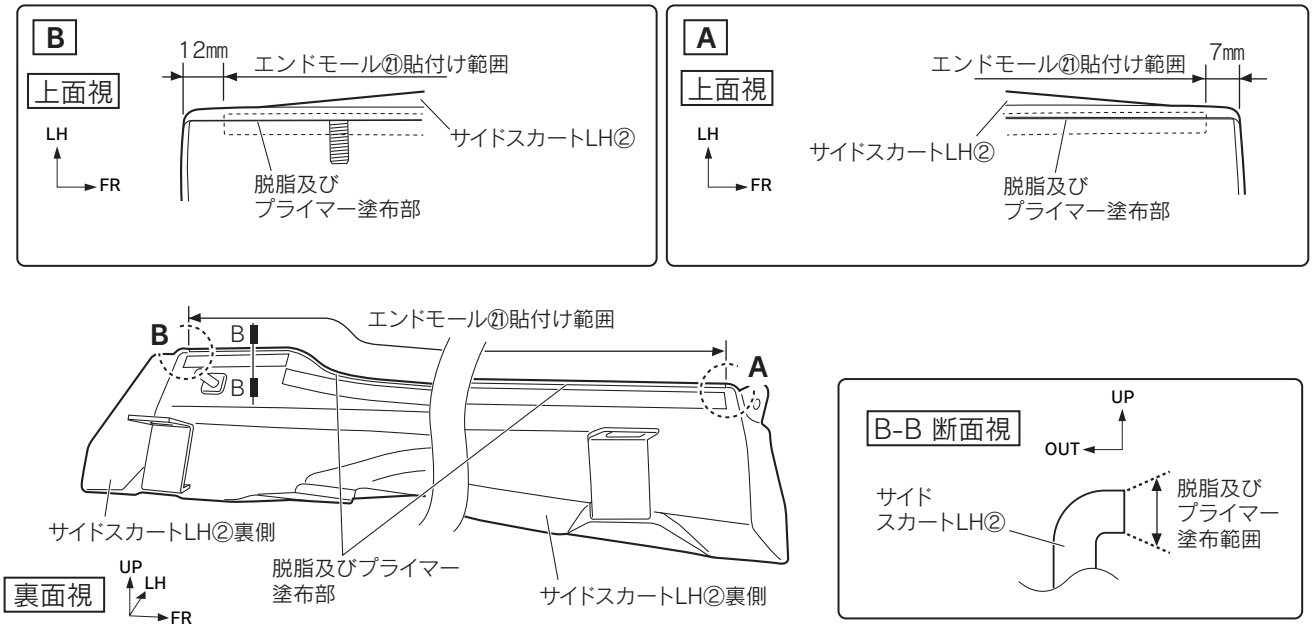
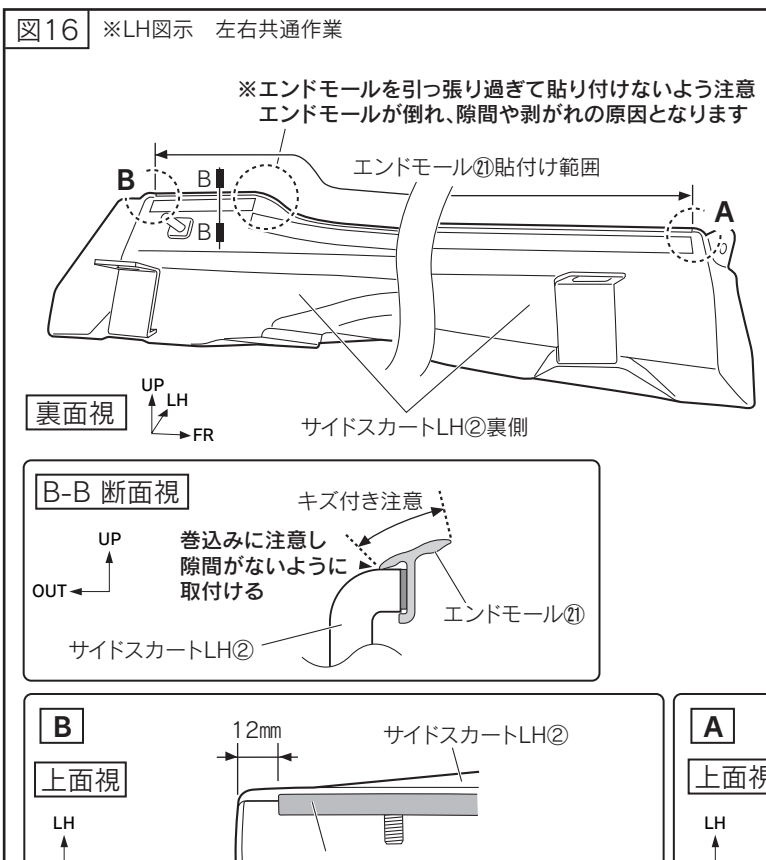
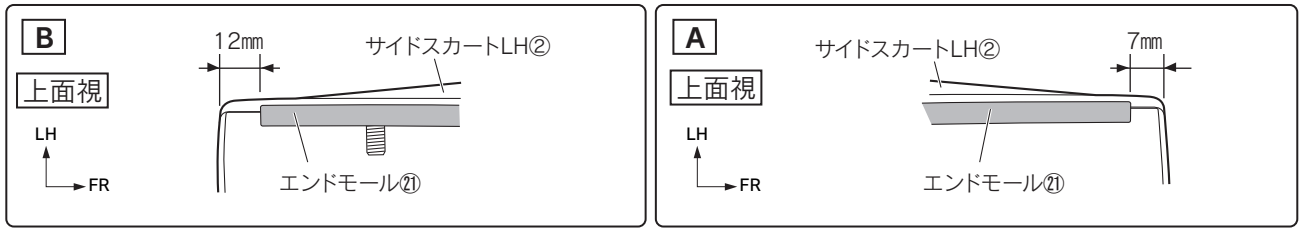


図16 ※LH図示　左右共通作業



2. 図16のようにエンドモール㉑の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

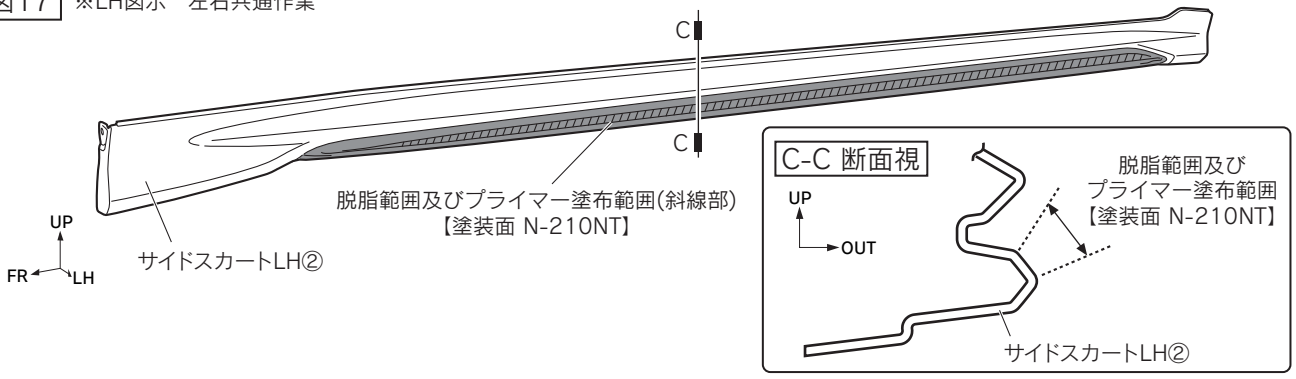


□ 金属調パーツの組付け

1. 図17のようにサイドスカートLH②の金属調パーツLH⑱貼付け部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、下図斜線部にPACプライマー(N-210NT)⑳を塗布する。

⚠ **注意** :脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因になります。
プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図17 ※LH図示　左右共通作業



2. 図18のように金属調パーツLH⑱の両面テープ離型紙を矢印の方向に約30㎜剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

図18 ※LH図示　左右共通作業

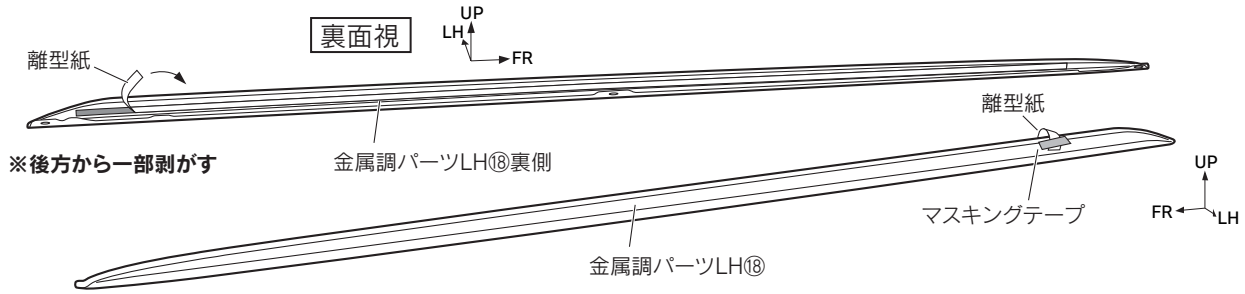
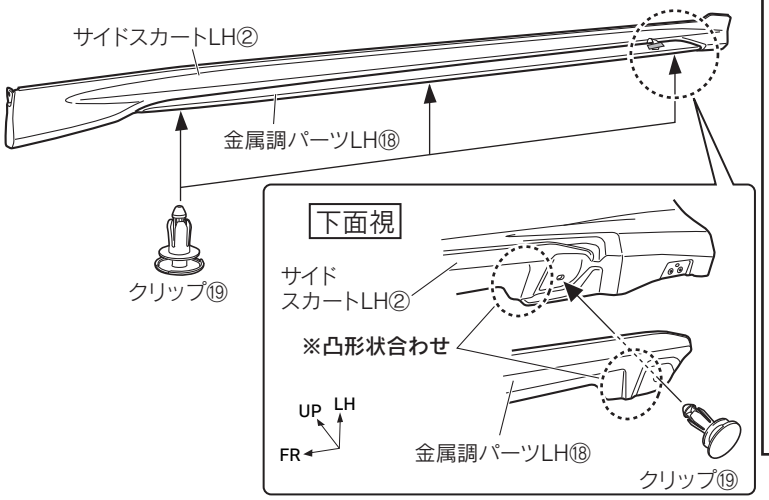


図19 ※LH図示　左右共通作業



3. 図19のように金属調パーツLH⑱を後方下面凸形状を合わせてあてがい、クリップ⑲で固定する。

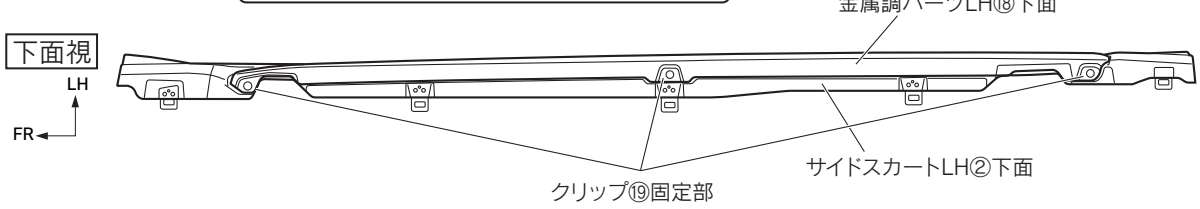
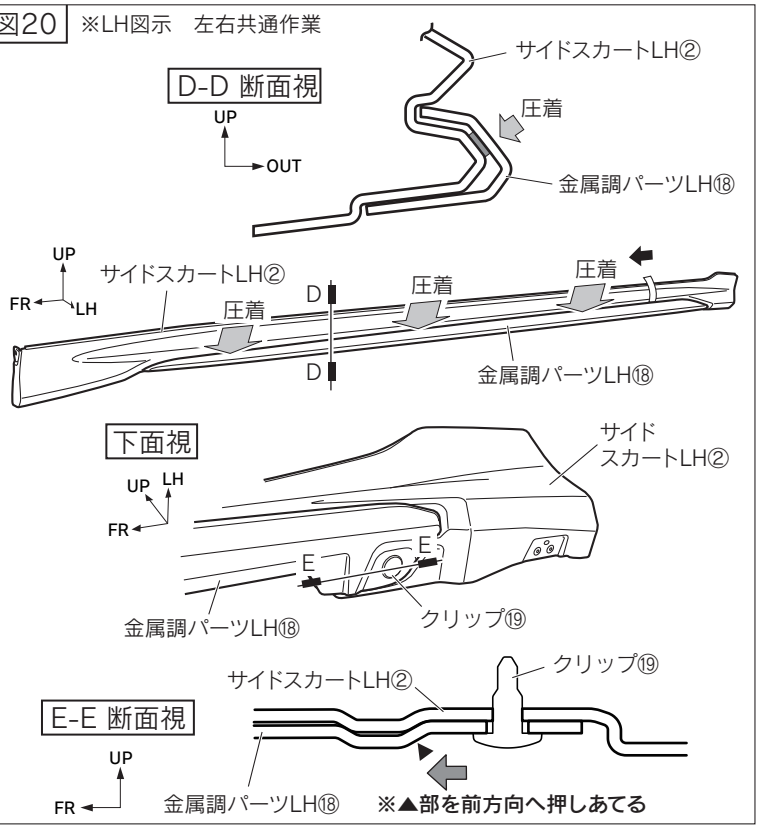


図20　※LH図示　左右共通作業



4. 図20のように金属調パーツLH⑱の両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

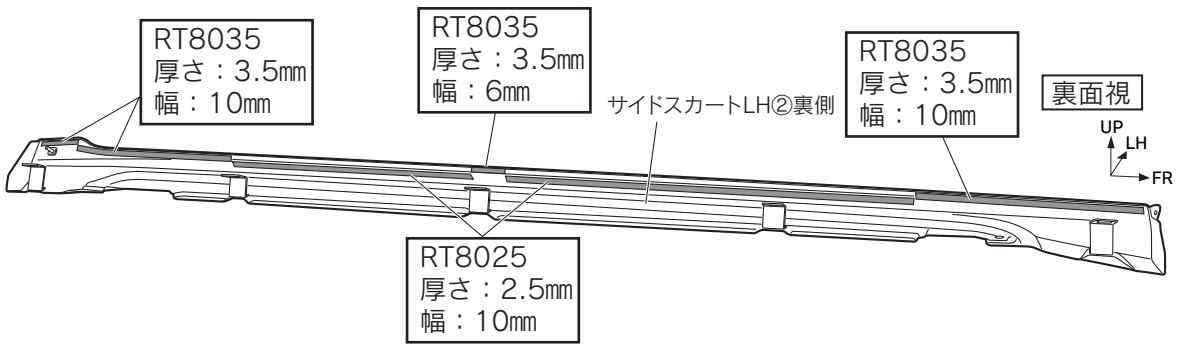
アドバイス:両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠**警告**:両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 参考

補修キット(品番：MSD80-52H23)を使用してサイドスカートの取付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼付けてください。
※両面テープを貼付ける際は、貼付部を脱脂し、プライマー(PACプライマーN-210NT相当)を塗布してください。

図21　※LH図示　左右共通作業



■ 取付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA

脱脂作業要領書

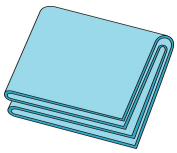
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

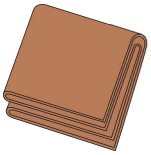
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

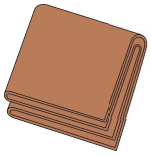

水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

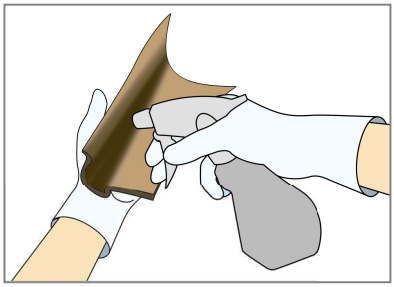

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

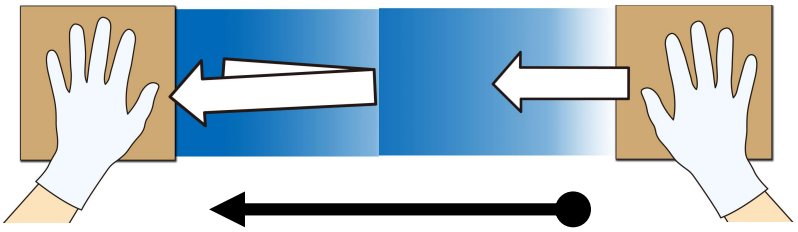


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

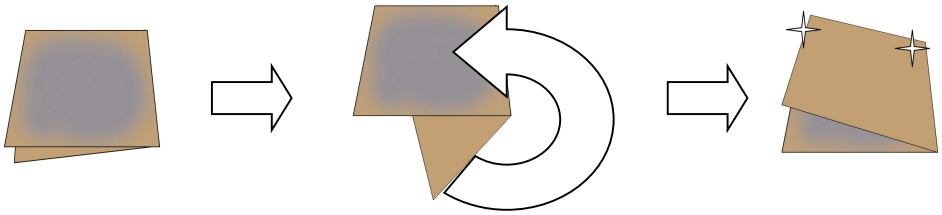
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。